

～生徒数最多・全国入賞者数最多～ 驚異の道場経営・極意皆伝



# 道場経営の成功法則

養正館館長  
渡辺貴斗

## 【第35回】 自分の道場を建てる！（7）

### 道場設計の工夫(4)

前回に引き続き、道場設計の工夫について述べてまいります。

#### ★ピクチャーレール

道場の壁には、全国大会優勝などの賞状を掲げたいものですね。私は、絵画をかけるのに使うピクチャーレールを採用しました（写真1）。カーテンレールみたいな専用レールを壁に打ち付け、可動式のフックをレール上で滑らすことで、賞状を好きな位置に動かすことができます。額の大きさを統一することで、見た目もすっきりスタイリッシュになります。

賞状額は、ガラス板を使ったものは落下した時に割れて危険です。そこで、ガラス板のものは全て廃棄し、透明PET板（ペットボトルと同じ素材）を使用したものに統一しました。

また、PET板はガラス板に比べ軽量ですので、

もし落下しても、被害を最小限に抑えることができます。デメリットはペット板は完全平面ではないので、角度によっては光の反射が起こり、文字が見えづらいことがあります。

#### ★床の防音

次に防音についてです。空手道場の騒音でつきものなのは、足踏みの音、気合の声です。あなたの道場が、新築や大規模改修の場合は、床の防音工事をしてしまうことを強くお勧めします。私の道場は、学校の体育館と同じ金属スプリングを床下に数百本入れています。防音だけでなく、膝や関節の怪我防止にもなります。

実際に学校の体育館を施行している床業者に依頼し、その専門業者に全てお願いしました。床下にもぐって、実際の写真を撮りました（写真2）。

#### ★吸音板

床対策は衝撃音専門、壁対策は声専門です。壁は多孔の吸音板にしました。学校の音楽室、視聴覚室、ピアノ室の壁に使用されている有孔ボード（穴あき



写真1：ピクチャーレール

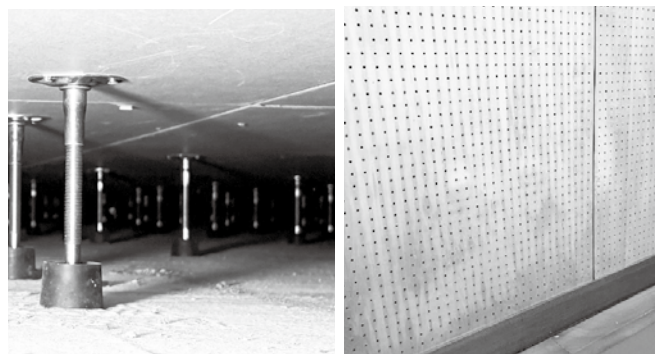


写真2：床の防音

写真3：吸音板

ボード)を採用しました(写真3)。音エネルギーを熱エネルギーに変換して吸収する仕組みです。音が穴に入り込むと、穴の奥にある空気層や吸音材にぶつかって、摩擦が起こり、音エネルギーが熱エネルギーに変換され消費されます。結果として防音となります。

また、道場内でみんなで大きな声で気合を出しても、音の反響(音がいつまでも響き続ける)を防ぐので、道場の中で気合の反響音でうるさいということも起こりづらくなります。

### ★排煙装置

排煙装置は煙が充満したときに外へ排出するための設備で、複数の窓の開閉が一度にできます。新築時は、予算の都合上、手動ハンドルにしましたが、毎日の稽古で何度も回すので、ハンドルが金属疲労で折れてしまいました。写真4のように電動式にしたところ、ボタンひとつで複数の窓が同時に開閉され、大変便利です。



▲写真4：排煙装置  
「建物の規模」「道場がある階数」「窓の有無」「内装の仕様」などの条件次第で、排煙設備の設置が必要になるケースと免除されるケースに分かれます。



▶写真5：外の照明  
ソーラー電池を内蔵した屋外用のLED照明(人感センサー付)。

また、このような排煙装置は建築基準法で設置が義務付けられています。延べ面積によりますので、広い道場でしたら設置義務が生じるでしょう。普段の換気にも便利です。予算が許すようでしたら、初めから電動式を選択すると良いでしょう。

### ★外の照明

最後に外の明かりですが、電気を引っ張ってきても良いのですが、最近はとても便利なものがあります。ソーラー電池を内蔵した屋外用のLED照明です。これを5基ほど道場外壁や外玄関の鉄柵などにくりつけています(写真5)。人感センサーが働きますので、子供たちが稽古を終えて駐車場に出てくると一斉に点灯し、とても明るくなります。

昔は、外に照明をつけて、夕方18時になると電気が点くようにしたタイマー仕掛けの照明を使っておりました。しかしながら、現在では、人感センサー付ソーラーLED照明がとても便利です。

### PROFILE

#### ■渡辺貴斗 TAKATO WATANABE

1968年4月20日生まれ。7歳から研修会副会長・渡辺貞雄(父)に師事。

2001年に父の町道場を継ぎ、2006年からコーチングを導入した指導法に切り替えると、2010年に全少優勝者を早々に輩出。その後、2014年7名、2015年7名、2017年9名など、1道場からの「全少の全国最多入賞者数」を少なくとも8年連続で記録する。

1道場に380名の道場生が在籍し、道場経営でも全国一を誇る。100回以上続いたJKFanでの連載「ZENSHOに行こう」で、空手キッズの指導にコーチング理論を導入し体系づけた空手界の第一人者。東京大学大学院博士号を持つ異色の指導者でもある。



空手道場 養正館／静岡県沼津市本田町11-12

## Column

### 子供への声掛けと道場経営に役立つ！ 人生を変えるおススメ本！(第31回)

#### ■グレッグ・マキューン著 『エッセンシャル思考』★★★★★

忙しい、忙しいと愚痴を言いながら指導している毎日。その割に、生徒も増えないし、試合成績も上がらない。保護者からは指導内容について苦情を受けた。こんなに頑張っているのに成果が出ない。これはもしかしたら、そんな真面目なあなたのことですか。「全部やらなくては!」と思い込んでいるのではないですか? 指導、生徒募集、審査会、イベント、SNS更新、試合・外部セミナーへの引率、事務作業など、あらゆることを抱え込んでいませんか?

成功している道場のやり方を聞いて来ると、あれも増やそう、これも導入しよう、とさらに自分を忙しくしてしまいます。盲目的に受け入れる前に、「やらないことを決める」ことも重要です。

道場経営において究極の3つとは、「充実した指導」、「生徒募集」、「在道場生の継続」です。依頼を断る、重要でないものは思

い切って捨てる、ことで、本当に重要な3つだけに集中できるのです。どうしても、増やしたい時は、1つ捨ててから1つ増やす「トレードオフ」を取り入れてみましょう。

私たちは忙しくしていると安心しますが、忙しい人ほど成果を出すとは限りません。たくさんの仕事をこなすことではなく、価値ある仕事を選択するのです。何を増やすかではなく何をやるかが重要です。

自分で優先順位をつけなければ、他人の言いなりになって、本当に重要なことが後回しになってしまいます。最悪な場合は、最も重要なことにたどり着けないこともあります。昔からやってきた慣れ親しんだ練習体系、毎日毎日追い立てられている事務作業など、本当に必要か? と一旦疑ってみることは、持続的な道場経営に必要な不可欠です。ここで一旦立ち止まって精査することは、決して無駄な時間にはなりません。